

平成28年度 第1回 玉城町総合教育会議 議事録

開催日時	平成28年12月2日（金）午前9:30～10:55
開催場所	玉城町役場3階 第3委員会室
出席者	辻村町長 教育委員：水谷委員、中山委員、小林委員、前川委員、田間教育長 オブザーバー：中西教育員会事務局長、平生同生涯教育課長補佐 事務局：林総合戦略参事兼課長、中川同主幹兼係長、永井同主事
傍聴者	無し
【議事概要】	
事務局	林課長司会
町長	町長挨拶
教育長	教育長挨拶
	【議題】
事務局	1. 玉城町教育大綱について ■事務局説明 教育大綱については総合計画の中でカバーしている。計画期間についても総合計画に合わせて28年度から5ヵ年としている。 「第5次玉城町総合計画後期基本計画」に沿って説明。 「玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について説明。
委員	総合計画、総合戦略での結果の検証に教育委員会としてどのように関わっていくのか。
事務局	昨日、外部有識者による総合戦略の事業効果検証を行った。教育委員会には結果を報告させていただく。
教育長	全体の施策に関しては主要施策の成果を作成している。
	2. 情報交換について
町長	玉城町の教育インフラはかなり整備されている。旧町村単位で学校が残っていること、コンパクトなまちということが強みである。子供達の生きる力を作っていきたい。町の歴史が子供たちに引き継がれている。教育関係者のご尽力のおかげである。 下外城田地区の人口減少が課題であり、今後対策を検討している。小学校単位のコミ

	<p>ユニティで地域のつながりを大切にしていきたい。 家庭教育、地域の繋がりが薄れてきている。地域の一体感もなくなってきている。今後、集落の中に教育関係者が出向き、顔を合わせる機会を設けたい。</p> <p>今、玉城町に残っている文化遺産を守っていかなければならない。そのことで、子供達に誇りをもってもらえるようになればよい。</p> <p>田丸城址や玄甲舎など素晴らしい文化遺産がある。魅力をもっと発信できるように努力していきたい。教育委員会だけではなく町全体として取り組んでいきたい。</p>
事務局	玄甲舎について説明
町長	このような素晴らしい文化遺産を町としても残していかなければならない。ずっと昔からの姿を残しており、来年170年になる。
委員	興味のある人は見に来るだろうが、地元の住民が意外と知らないことが多い。子供のころの記憶は大人になってもずっと残る。学校教育の一環として玄甲舎を活用できないか。
町長	町民の方々にも知ってもらうため、広報誌でも特集をさせていただいたり、村山龍平記念館で特別展を行ったりした。
教育長	特別展については600名の方が来場された。県外の方の来場も見られた。
町長	金森得水のような偉人が
委員	町の9年間の教育について、コンパクトなまちの利点を活用することで、中学校に進学したときの中1ギャップを減らすことができないかと考えている。 これからの国際化に対応するため、英語教育を保育所まで下げられないか。また、玄甲舎などで、お茶の入れ方などを学び、そこに英語教育もミックスさせることで、日本人のアイデンティティを大切にしつつ、国際化へ向けた準備ができるのではないか。例えば英語で茶道を行うなど。
町長	ALTについては町独自でも継続して行っていきたい。就学前教育に力を入れていきたい。 玄甲舎については、常に人が行き交うような拠点にして行かなければならない。
教育委員会	現在保育所にALTの派遣を行っている。英語教育ではないが、外国人に触れ合う機会を設けている。

町長	ALTの授業を拝見したが、子供達が非常に楽しそうにしていた。いきいきと授業を受けていたのが印象的だった。理科実験の取り組みもとても子供達によるこばれている。今後も工夫しながら持続させていきたい。
教育長	英語教育の公開授業では2年生が英語でじゃんけんを行っていたことに驚いた。
町長	学校施設も概ね整備が完了した。今年度も児童館を新設する。
委員	新教育長においては、今年度3人の校長が退職するため、大変ではあるが、学校運営が円滑に進むようにご尽力いただきたい。
	以上